

2022年4月1日
株式会社みずほ銀行
株式会社東邦銀行

福島県阿武隈地域における陸上風力発電所に対する プロジェクトファイナンスの組成について

株式会社みずほ銀行（本店：東京都千代田区、頭取：加藤 勝彦、以下「みずほ銀行」）および株式会社東邦銀行（本社：福島県福島市、代表取締役頭取：佐藤 稔、以下「東邦銀行」）は、福島復興風力合同会社（本社：福島県福島市、代表社員：住友商事株式会社、以下「福島復興風力」）に対し、総額567億円のプロジェクトファイナンスを組成し、このたび（本日）建設工事が開始されました。

福島復興風力は、2017年に福島県による公募において事業者として選定され、同県より事業費補助金の交付を受けて、本発電所の開発を推進してきました。福島県田村市、大熊町、浪江町、葛尾村にまたがる阿武隈地域山間部の稜線上に全高約148メートルの風車を46基設置し、国内最大規模の陸上風力発電所として2025年春の完工を予定しています。本発電所の総発電容量は約14万7千キロワットとなり、年間想定発電量は約12万世帯分の消費電力量に相当します。売電収入の一部は地域の復興支援に活用される計画です。

こうした福島復興風力による復興支援および再生可能エネルギーの安定供給の取り組みを資金面から支援すべく、2021年7月16日、建設資金等についてみずほ銀行および東邦銀行がアレンジャーとして、計23金融機関が参加したシンジケートローンを組成しています。

みずほ銀行は、持続可能な社会の実現に向けた取り組み（サステナビリティアクション）を強化しています。これまでもエクエーター原則採択金融機関として、環境・社会リスクへの適切な配慮を行いながら、再生可能エネルギーの取り組みを積極的に支援してきました。今後も〈みずほ〉は、総合金融グループとしての知見を活かし、脱炭素化を推進する事業への助言や資金調達支援をはじめ、多様なソリューションの提供に積極的に取り組んでいきます。

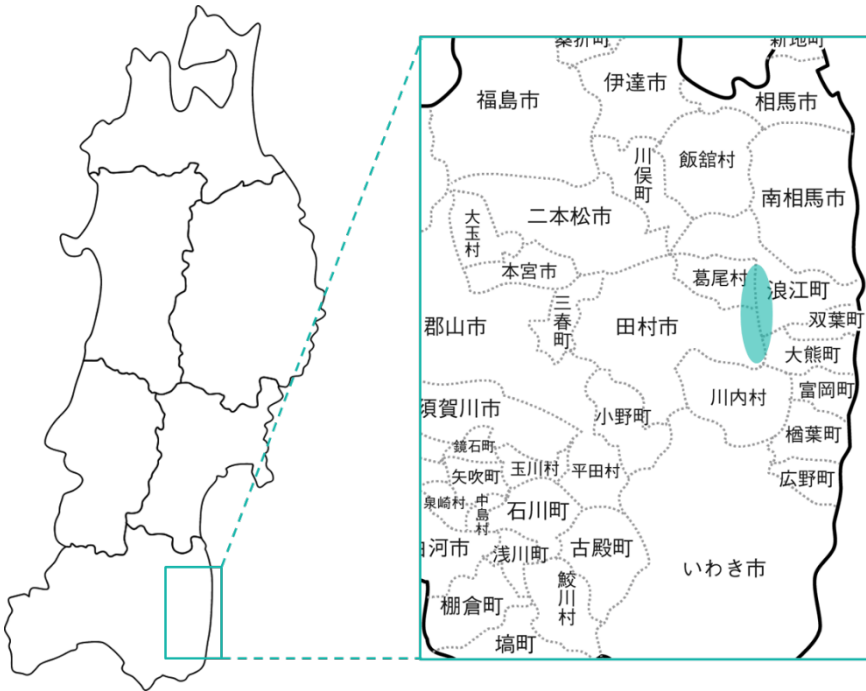
東邦銀行は、「福島県再生可能エネルギー推進ビジョン（注）」を掲げる福島県の地元金融機関として、再生可能エネルギーを重点取組分野に位置付け、太陽光、風力、バイオマスおよび小水力事業等の再生可能エネルギー発電の事業化および資金調達支援に積極的に取り組んでまいります。

（注）福島県が策定した「福島県再生可能エネルギー推進ビジョン」において、2040年頃までに「県内エネルギー需要の100%相当量を再生可能エネルギーで生み出すこと」が導入目標とされています。

■事業概要

名 称	阿武隈風力発電事業
事業主体	福島復興風力合同会社
出 資 者	住友商事株式会社、JR 東日本エネルギー開発株式会社、一般財団法人ふくしま未来研究会、株式会社ジャパンウインドエンジニアリング、福島発電株式会社、清水建設株式会社、株式会社大林クリーンエナジー、株式会社レノバ、信夫山福島電力株式会社
計画地域	福島県田村市、大熊町、浪江町、葛尾村
総発電容量	約 14 万 7 千キロワット
スケジュール	2022 年着工、2025 年春完工（予定）

■計画地点 位置図



■ 融資概要

アレンジャー（主幹事）	みずほ銀行、東邦銀行
参加金融機関	国内 21 金融機関
契約締結日	2021 年 7 月 16 日

以上